

令和8年3月6日

関係各位

鹿児島大学教育学部附属中学校
校長 溜 清弘

総合選考における算数の問題について

先日実施いたしました「令和8年度 鹿児島大学教育学部附属中学校 総合選考」の「算数」において、問題文の会話の一部に誤解を生む表現があることが判明いたしました。受検生の皆様をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

本校では、以下の通り対応しますのでご報告いたします。

記

1 誤解を生む表現の箇所

教科：算数

大問6の太一さんと花子さんの会話文の中に、花子さんが「ひもの長さは同じ」と2回表記されていますが、実際は、「ひもの長さはちがう」と表記しなければなりませんでした。

2 本校の対応

当該問題は3つの図をもとに数値を求める問題であり、会話の一部は、設問の解答とは直接関係がないと判断します。

仮に当該問題を全員正解として扱ったとしても、合否判定への影響はありません。

3 今後の対応について

今後はこのような事態が起こらぬよう、問題作成時における点検体制の更なる強化に努め、再発防止を徹底してまいります。

受検生の皆様をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしたことを、重ねて深くお詫び申し上げます。